

❖ 基礎研究部門 ❖

研究セミナー

研究分野横断的研究プログラム
「過疎地域伝道実践研究プロジェクト」
(研究代表：葛野洋明)

2024 年 10 月 6 日(日)～2025 年 2 月 26 日(水)

龍谷大学大宮学舎

❖ 概 要 ❖

「過疎地域伝道実践研究プロジェクト」は、日本の人口減少に伴う過疎地寺院の運営状況の悪化を危惧した研究者によって組織され、地方寺院の実際のあり方や過疎地寺院の運営方法を共有する目的のもと採択された。2024 年度は各研究員の調査結果や実際に活動されている講師を招致して、4 回の公開研究セミナーが実施された。以下公開された研究セミナーの概要を示す。

2024 年 10 月 6 日(日)

第一部【講演会】「災害ボランティアと仏教―東日本大震災に学ぶ―」

藤丸智雄氏（浄土真宗本願寺派 源照寺住職）

第二部【ディスカッション】「お寺を軸とする地域のつながりが減災となる可能性」

藤丸智雄氏、楠淳澄氏（龍谷大学文学部教授）



ディスカッションの様子

2024 年 12 月 27 日（金）

- ・研究セミナー「過疎地のお寺の伝道活動―新たな伝道手段を用いて―」

プログラム

講題① 「LINE 公式を用いた門信徒との信頼関係の築き方」

講演者 木賣慈教氏（浄土真宗本願寺派 西敬寺住職）

講題② 「ローカル寺院のオープンデータ化―Wikipedia を活用する―」

講演者 桂まに子氏（京都女子大学講師）

講題③ 「SNS を用いた伝道の力」

講演者 松崎智海氏（浄土真宗本願寺派 永明寺住職）

ディスカッション 木賣慈教氏、桂まに子氏、松崎智海氏、長岡岳澄氏（中央仏教学院講師）

2025 年 1 月 14 日（火）

- ・研究セミナー「過疎被災地としての奥能登真宗寺院の復興活動―蓮如道中を奥能登へ―」

講演者 太田浩史氏（となみ民藝協会会長・日本民藝協会常任理事

・真宗大谷派大福寺住職）

司会 楠淳證氏（龍谷大学文学部教授）

2025 年 2 月 26 日（水）

- ・研究セミナー「過疎地のお寺の伝道活動―過疎地の伝道を考える―」

プログラム

講題① 「寺院のアライアンス化による伝道力の教化」

講演者 杉山雲来氏（本願寺派布教使）

講題② 「新しい法座の開催方法」

講演者 若林唯人氏（中央仏教学院講師）

ディスカッション 杉山雲来氏、若林唯人氏、楠淳證氏（龍谷大学文学部教授）
葛野洋明（龍谷大学大学院実践真宗学研究科特任教授）

いずれの研究セミナーも参加者を交えて活発な質疑応答がおこなわれた。今後は本年度と同じく 4 回の公開研究セミナーを開催することが予定されており、過疎地域における寺院のあり方を巡って活発な議論を展開することが期待される。